

2019年度 社会福祉法人権の木福社会 事業報告（案）

◎はじめに～2019年度主要事業の進捗状況

1. 特定処遇改善加算

消費税税率の引き上げによって創設された特定処遇改善加算を取得し、ベテラン介護福祉士を中心とした職員の処遇を改善した。

2. 働き方改革と魅力ある職場作り

働き方改革関連法に基づき、年間5日間の有給取得を進め、同一労働同一賃金等の対策について検討を開始した。また、介護職員への処遇改善金による職種間の処遇差を埋める為に給与規程の見直しについて検討を開始した。

3. 法人本部機能の強化

法人本部機能を強化するための体制整備を開始した。

4. 人材確保対策

人材確保対策として他県・海外人材の活用、ホームページのリニューアル等の対策の検討を開始した。

5. 改修関係

瑞光の里大規模改修、第二瑞光の里空調照明の改修を実施した。

◎事業所別報告（実績・課題）

1. 特別養護老人ホーム瑞光の里

- ・【特養平均人数】本館 86.05 人、別館 38.71 人であった。（目標：本館 88 人、別館 39 人）
- ・【SS平均人数】22.02 人であった。（目標：20 人）※障がい短期入所数込
- ・【平均介護度】本館 3.94、別館 4.20 であった。（目標：本館 4.2、別館 4.2）
- ・介護福祉士比率向上に努めた。（試験合格者：3 人、年度末保持者数：47.79 人、目標：48 人）
- ・認知症介護実践リーダーの養成を進めた。
- ・ショートステイ緊急受入体制の強化を継続し、困難ケース等の受入を積極的に行なった。
- ・施設の老朽化対策と業務改善を目的に大規模改修工事を実施した。本館エレベーターや新館・別館のエアコンの改修は次年度以降に持ち越しとなった。

2. 瑞光の里指定居宅介護支援事業所

- ・【平均人数】介護給付 114.4 人、予防給付 19.8 人であった。（目標：120 人、14 人）
- ・特定事業所加算Ⅱの算定を維持した。
- ・情報伝達会議の他、部署内の朝礼を開始し情報共有に努めた。
- ・半田市高齢介護課や半田市包括支援センターとの連携会議、半田市在宅ケア推進会議、半田市居宅介護支援事業所勉強会、ふくし井戸端会議などに参加を通じて地域包括ケアに積極的に取り組んだ。
- ・瑞光プラットフォームにて、社協や地域コーディネーター、法人内の相談員と協同し地域ニーズに対する取り組みとしてやまももバスツアーを開催した。
- ・他法人との合同事例検討会を継続した。
- ・デイサービスセンター第二瑞光の里に相談のあった聾者の受け入れをはじめ、半田市包括支援センター、半田養護老人ホーム Link などからの処遇困難事例を積極的に受け入れた。
- ・介護支援専門員実務研修実習受入体制を確保し、受け入れを行った。
- ・特定事業所加算Ⅳの取得準備については、加算要件のひとつである退院時の連携ケース自体が少なく年 15 件と基準の 35 件には届かなかった。引き続き取得できるよう準備を進める。

3. 特別養護老人ホーム第二瑞光の里

- ・【特養平均人数】特養 86.74 人であった。(目標：87 人)
- ・【SS平均人数】10.93 人であった。(目標：11 人) ※障がい短期入所数込
- ・【平均介護度】3.94 であった。(目標：4.0)
- ・介護福祉士比率向上に努めた。(試験合格者：2 人、年度末保持者数：35.6 人、目標：35.3 人)
- ・役職者教育、職員教育を実践し、サービスの質の向上に努めた。
- ・職員配置体制を見直し、適正な人員配置およびサービス内容の整理を行った。
- ・介護職員等によるたん吸引等研修の受講を計画的に進めた。
- ・共生型サービス事業開始に伴い、障がい者の受け入れ体制を強化した。
- ・地域から頼られる施設を目指し、積極的に地域交流を進めた。
- ・実習生・ボランティアの受け入れ体制を強化した。

4. デイサービスセンター第二瑞光の里

- ・【平均人数】24.63 人であった。(内訳：高齢 22.21 人、障がい 2.42 人、目標：20 人)
- ・介護福祉士比率向上に努めた。(試験合格者：受験者無、年度末保持者数：5.5 人、目標：5 人)
- ・職員配置体制を見直し、適正な人員配置およびサービス内容の整理を行った。
- ・共生型サービス事業開始に伴い、障がい者の受け入れ体制を強化した。
- ・新規利用者獲得を目指し、関連事業所との信頼関係構築に努めた。
- ・新規利用者獲得を目指し、ニーズ調査を行い、必要とされるサービス体制の構築を行った。
- ・外部研修等を活用し、職員の援助技術の向上に努めた。

5. 半田養護老人ホーム Link

- ・【平均人数】48.5 人であった。(目標：48 人)
- ・新規入所受け入れ 8 名、退所 4 名であった。
- ・新規入所者の獲得を目指し各市町村、関係機関への営業活動を継続した。他市町村からの入所受け入れは 6 名であった。(名古屋市 2 名、碧南市 3 名、東浦町 1 名)
- ・食事、食事内容の向上を図り入所者の QOL の向上を図った。
- ・入所者に対する対応方法の技術向上に努めた。
- ・入所者の心身機能低下防止、介護予防、認知症予防の取り組みに努めた。
- ・認知症・処遇困難の入所者対応の技術研鑽に努め、サービスの質の向上を諮った。
- ・リハビリ体制の強化を行い、ADL 低下の防止に努めた。
- ・地域との関わりを深め、地域住民参加の防災訓練を実施した。

6. 特別養護老人ホーム瑞光の里 緑ヶ丘

- ・【特養平均人数】93.7 人であった。(目標：97 人)
- ・【SS平均人数】19.6 人であった。(目標：19.5 人)
- ・【平均介護度】4.15 であった。(目標：4.0)
- ・介護福祉士比率向上に努めた。(試験合格者：3 人、年度末保持者数：39.05 人、目標：36.1 人)
- ・役職者教育、職員教育を実践し、サービスの質の向上に努めた。
- ・介護職員等によるたん吸引等研修の受講を計画的に進めた。
- ・共生型サービスについての検討を進めた。
- ・地域交流を進め、地域から頼られる施設を目指し実施した。

- ・実習生・ボランティアの受け入れ体制を強化した。
- ・ユニットケアに関する理解を深め、実践に結び付けた。
- ・ユニットケアリーダー研修実施施設の認定を受けた。
- ・職員の顧客意識を向上させ、接遇力を高め、日総研の接遇大賞を受賞した。
- ・職員のモチベーションを高め、魅力ある施設運営を実践した。
- ・日本福祉大学半田キャンパスとの交流を進め、連携を深めた。

7. 地域連携

1) 困難事例の受け入れ (包括支援センター等)

○瑞光の里	本入所	5 件	短期入所	23 件
○第二瑞光の里	本入所	0 件	短期入所	24 件
○緑ヶ丘	本入所	2 件	短期入所	25 件

2) 地域交流・実習生受入実績

○椎の木福祉会

- ・日本福祉大学半田キャンパス学部祭出店
- ・日本福祉大学大学祭出店
- ・日本福祉大学講師派遣 (ソーシャルワーク実習関連)
- ・現職を対象とした介護技術講習 (会場: NPO 法人まんまる)
- ・はんだまちなかフェスティバル出店 (主催: 半田商工会議所)
- ・椎の木福祉会施設見学やまももバスツアー開催 (各施設発 計 3 回)
- ・災害ボランティア派遣 (長野県長野市)
- ・ゲストティーチャー講座「介護のお仕事」(会場: さくら小学校・乙川中学校・半田図書館)
- ・まなびとゼミ講師「身近な介護技術」(会場: 雁宿ホール)
- ・ウェルフェアワークス参加 (会場: 日本福祉大学半田キャンパス)
- ・介護ささえあい活動人材フォーラム参加 (会場: 雁宿ホール)

○特別養護老人ホーム瑞光の里

- ・本板山山車祭り来訪
- ・社会福祉士実習受入 (日本福祉大学美浜: 2 名、半田: 2 名)
- ・介護福祉士実習受入 (日本福祉大学半田: 5 名・名古屋福祉専門学校: 2 名)
- ・教員介護体験実習受入 (日本福祉大学美浜: 10 名・志学館大学: 2 名・東京芸術大学: 1 名)
- ・職場体験実習受入 (半田中学校: 4 名・青山中学ならわ分校: 1 名)
- ・インターン実習受入 (武豊高校: 2 名)
- ・半田居宅介護支援事業所勉強会 (HKB) 参加
- ・半田市包括支援センター運営協議会参加
- ・半田青山地区介護予防生活支援協議会参加

○特別養護老人ホーム第二瑞光の里

- ・成岩中学校 (職場体験学習)
- ・宮池小学校 (社会見学・社会科学習『昔の道具と人びとの暮らし』)
- ・障がい児の就労支援 (ワンデイシェフ・りんりん喫茶)
- ・出張相談窓口 (ふらっとスペースならわ)

- ・地域会議参加（半田南部多機関連携会議、介護予防生活支援協議会、男性介護者の集い）
- ・地域住民、ボランティア受入（サロン山の神、新生寮、同胞園、他新規1名）
- ・認知症サポーター養成講座（損保ジャパン・ジバレンジャー）
- ・社会福祉士実習受入（日本福祉大学 美浜：5名 半田：1名）

○半田養護老人ホームL i n k

- ・土井山緑地の清掃活動(入所者、職員)
- ・太陽クラブ(学童)交流(慰問来訪、イモ掘り)
- ・日本福祉大学スポーツ科学部フィールドワーク学生受け入れ
- ・地域住民参加の防災サロンの実施
- ・日本福祉大学健康科学部、社会福祉士相談援助実習 A、B 受入(A1 名、B1 名)

○特別養護老人ホーム瑞光の里 緑ヶ丘

- ・日本福祉大学半田キャンパス交流
- ・地域交流スペース開放（社会福祉協議会、ボランティア）
- ・社会福祉士実習受入（日本福祉大学 美浜：2名 半田：2名 ）
- ・介護福祉士実習受入（日本福祉大学 半田：10名 ）
- ・中学校職場体験学習受入、乙川中学校職場インタビュー
- ・亀崎駅前はうす出張相談会、亀福合同出張相談、亀崎地区ふくし井戸端会議、事業所連絡会参加
- ・ゼロの日 立哨（毎月20日実施）
- ・キャラバンメイト、亀中ふくし教育(キャラバンメイト)、在宅ケア会議講師派遣
- ・有協地区認知症講座、在宅ケア会議、地域介護予防活動ボランティア研修講師派遣
- ・夏休みボランティア受入
- ・半田中央病院 地域連携懇話会参加

3) 医療法人中野会との連携

- ・経営企画室会議の開催（年12回）